




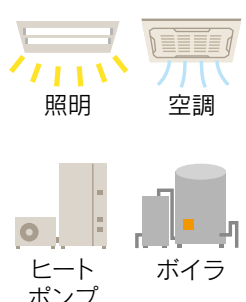
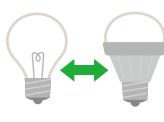


省エネルギー機器等の費用の一部を補助します

市民の省エネ
応援します!

東西環境工場でごみ焼却発電した電力はこれまで新電力会社へ売却してきましたが、区役所など本市の施設の約40%に電力を供給し「電力の地産地消」を行うことにより、温室効果ガス排出量の削減と電力調達にかかる経費削減を実現しました！
今回、電力の地産地消により削減した経費の一部を活用してエコカー、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH(ゼッチ))などへの補助を行います。

対象者	市民向け				中小企業等向け	どなたでも	
補助対象・件数	環境にやさしいエコカー 電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV) ・1台あたり10万円 ・件数(見込)100件	省エネ効率が高いZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) ・1件あたり30万円 ・件数(見込)25件	太陽光発電設備 ・1kWあたり2.5万円(上限10万円) ・件数(見込)75件	蓄電池 ・1台あたり10万円 ・件数(見込)50件	エネファーム(家庭用燃料電池) ・1台あたり10万円 ・件数(見込)10件	高効率設備の導入支援 高効率照明、高効率空調、産業ヒートポンプ、高性能ボイラ など ・補助率1/3(下限20万円、上限200万円) ・件数(見込)4件	LED電球の無償交換
内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> 充電できる自動車 個人の自家用であること 新車購入のほか、所有権留保付クレジット購入、リース契約も可  <p>※募集期間中に契約し、初度登録すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高断熱な住宅(夏は涼しく、冬は暖かい) 高性能設備で上手に省エネ 太陽光などで創エネ  <p>※募集期間中に契約すること(着工は交付決定後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 屋根などに設置して発電  <p>※募集期間中に契約すること(着工は交付決定後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夜間や非常時に使うために電気を蓄える  <p>※募集期間中に契約すること(着工は交付決定後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ガスで電気とお湯を供給  <p>提供：西部ガス ENE-FARM ※募集期間中に契約すること(着工は交付決定後)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 照明 空調 ヒートポンプ ボイラ  <p>※申請時は未契約であること</p>	<p>日時や場所などは、別途お知らせします</p> 
申込み	8月10日～来年2月28日までに申込み書類を郵送または持参で〒860-8601温暖化対策室へ。 ※先着で予算額に達した時点で終了。 ※申込み書類は市ホームページからダウンロード可。						

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

環境政策課 温暖化対策室(☎096-328-2355)

パブリックコメント募集

意見を募集します。

熊本市における生活排水対策の推進について(素案)

本市の生活排水対策(公共下水道、合併処理浄化槽)における区域変更の素案をまとめました。

担当課:上下水道局計画調整課(☎096-381-3022)

提出先:8月17日までに持参か郵送、ファクス(096-382-8760)または電子メール(keikakuhousei@city.kumamoto.lg.jp)で〒862-8620中央区水前寺6丁目2-45上下水道局計画調整課へ。

素案および結果の閲覧場所

担当課、情報公開窓口(市庁舎1階)、区役所(中央区役所を除く)、まちづくりセンター(中央区まちづくりセンターを除く)、大江交流室、五福交流室、芳野分室、ウェルパルクまもと、地域コミュニティセンター、市ホームページ、(熊本市における生活排水対策の推進について(素案)のみ)上下水道局ホームページ

パブリックコメント結果公表

熊本市都市計画道路見直しガイドライン(素案)

担当課:都市政策課(☎096-328-2502)

閲覧期間:8月13日～9月13日

第2次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)(素案)

担当課:都市政策課(☎096-328-2502)

閲覧期間:8月13日～9月13日

ドンドン語ろう! 市長と

5月30日に「市長とドンドン語ろう in 西部」として、まちづくりについて地域の皆さんと語りました。

資源物の持ち去り行為の対策

資源物収集日に資源物の持ち去り行為が発生しています。何か解決策はありませんか。

他の地域でも同じようなことが発生しており、特に通学路での持ち去り行為は、子どもの登校と時間帯が重なることもあり大変危険でもあります。環境部門では、ビデオカメラで持ち去り行為を撮影しパトロールを強化するなどの対応策を検討しております。ルール違反を許さない仕組みづくりや警告を行っていくことが必要と考えています。

白川河川敷の活用

古町校区には子どもが遊ぶ広い場所や憩いの場がありません。白川河川敷を活用して、市民の安心と安全、豊かな健康を確保するための場所づくりをお願いします。

市民の憩いの場として白川河川敷を有効活用しようと考えており、河川管理者である国土交通省に要望しているところです。今年、白川河川敷での植木市が復活したように、今後も河川敷のさまざまな利活用を検討していきたいと思ひます。

子育ての場所確保

月1、2回子育てサークルで活動をしています。子育てに関する相談場所が中学校区に1つもないので、虐待防止を考えると、相談場所などが必要です。現在熊本駅周辺で子育て世代の家族が増えています。駅前などにお母さん方が気軽に集える場や相談できる場所があればと思います。

マンション立地などが進み子育て世帯が増えてきている中、子育て支援の一つとして、母子を孤立させない場所づくりが必要と考えています。こういった場所がふさわしいか公的な場所だけでなく民間の場所も含めて、子育てにやさしい場所づくりを検討していきたいと思ひます。

※やりとりは一部を抜粋したものです。

